

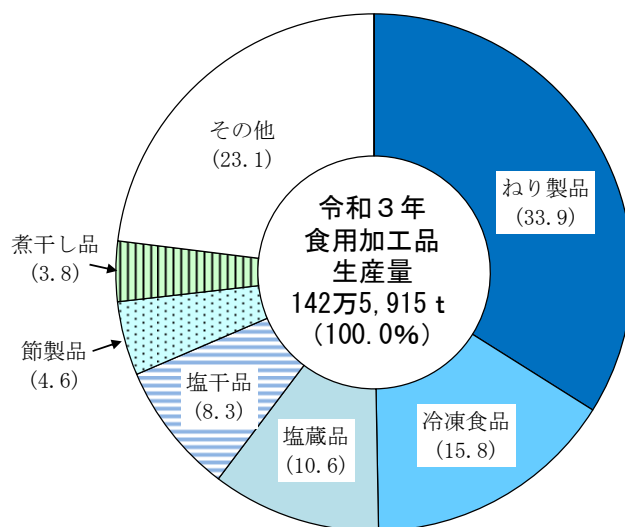
【調査結果の概要】

令和3年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は142万5,915 tで、前年に比べ1%減少した。

主な加工種類別^(注1)にみると、ねり製品は48万3,686 t、煮干し品は5万3,632 tで、前年に比べそれぞれ2%増加し、冷凍食品は22万5,349 t、塩蔵品は15万782 t、塩干品は11万7,757 t、節製品は6万6,005 tで、前年に比べそれぞれ2%、4%、2%、8%減少した。

生鮮冷凍水産物の生産量は111万308 tで、前年並みとなった。

図1 食用加工品生産量の主要加工種類別構成割合（全国）



注：表示単位を四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 主要加工種類別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区分	単位	令和2年	3	対前年差	対前年比
食用加工品	t	1,436,880	1,425,915	△ 10,965	99
うちねり製品	〃	473,292	483,686	10,394	102
冷凍食品	〃	229,581	225,349	△ 4,232	98
塩蔵品	〃	156,386	150,782	△ 5,604	96
塩干品	〃	120,775	117,757	△ 3,018	98
節製品	〃	71,801	66,005	△ 5,796	92
煮干し品	〃	52,817	53,632	815	102
焼・味付のり	千枚	6,013,442	5,973,749	△ 39,693	99
生鮮冷凍水産物	t	1,111,074	1,110,308	△ 766	100

- 注：1 加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。
 なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
 2 食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。
 3 主産県を対象に調査を実施している。

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は48万3,686 tで、前年に比べ2%増加した。

品目別にみると、かまぼこ類は42万2,482 tで、前年に比べ3%増加し、魚肉ハム・ソーセージ類は6万1,204 tで、前年に比べ2%減少した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合 (全国)

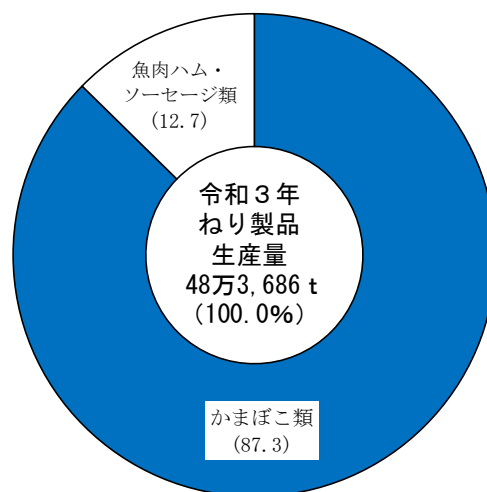


表2 ねり製品の品目別生産量 (全国)

区分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	473,292	483,686	10,394	102
かまぼこ類	410,526	422,482	11,956	103
魚肉ハム・ソーセージ類	62,766	61,204	△ 1,562	98

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は22万5,349 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は12万5,727 t、水産物調理食品は9万9,622 tで、前年に比べそれぞれ1%、3%減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合 (全国)

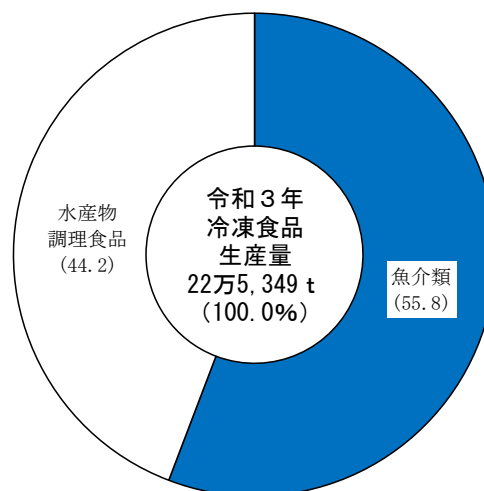


表3 冷凍食品の品目別生産量 (全国)

区分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	229,581	225,349	△ 4,232	98
魚介類	126,538	125,727	△ 811	99
水産物調理食品	103,043	99,622	△ 3,421	97

(3) 塩干品

塩干品の生産量は11万7,757 tで、前年に比べ2%減少した。

主な品目別にみると、ほっけは3万6,804 tで、前年に比べ8%増加し、あじは2万2,330 t、さばは1万6,300 t、いわしは8,242 t、さんまは7,024 tで、前年に比べそれぞれ8%、5%、4%、18%減少した。

図4 塩干品生産量の主要品目別構成割合 (全国)

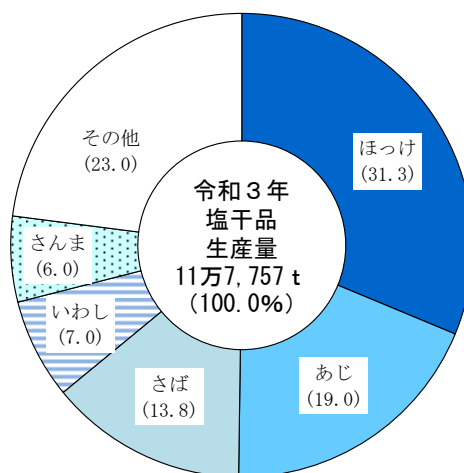


表4 塩干品の主要品目別生産量 (全国)

区分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩干品	120,775	117,757	△ 3,018	98
うちほっけ	34,006	36,804	2,798	108
あじ	24,327	22,330	△ 1,997	92
さば	17,070	16,300	△ 770	95
いわし	8,585	8,242	△ 343	96
さんま	8,573	7,024	△ 1,549	82

(4) 塩蔵品

塩蔵品の生産量は15万782 tで、前年に比べ4%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは8万2,496 t、さばは3万2,619 tで、前年に比べそれぞれ3%、10%減少し、たら・すけとうだらは1万1,031 tで、前年に比べ4%増加した。

図5 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合 (全国)

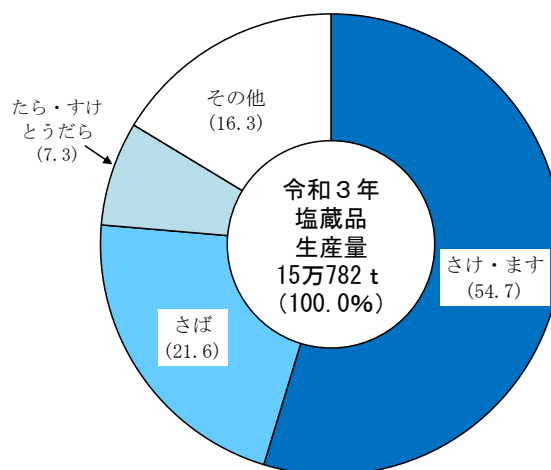


表5 塩蔵品の主要品目別生産量 (全国)

区分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩蔵品	156,386	150,782	△ 5,604	96
うちさけ・ます	85,304	82,496	△ 2,808	97
さば	36,256	32,619	△ 3,637	90
たら・すけとうだら	10,591	11,031	440	104

2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は111万308 tで、前年並みとなった。

主な品目別にみると、さば類は27万7,057 t、ほたてがいは9万8,093 tで、前年に比べそれぞれ3%、4%増加し、さけ・ます類は6万1,279 tで前年並み、いわし類は36万5,689 t、まあじ・むろあじ類は2万9,157 tで、前年に比べそれぞれ6%、23%減少した。

図6 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）

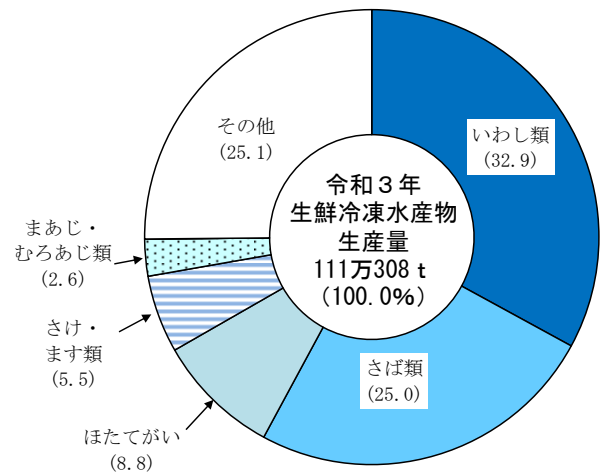


表6 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区分	令和2年	3	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生鮮冷凍水産物	1,111,074	1,110,308	△ 766	100
うちいわし類	387,625	365,689	△ 21,936	94
さば類	268,078	277,057	8,979	103
ほたてがい	94,122	98,093	3,971	104
さけ・ます類	61,092	61,279	187	100
まあじ・むろあじ類	38,021	29,157	△ 8,864	77